

マーマフーズの 食卓彩菜

.....
マーマフーズ代表の伊藤です。

この度は、「毎日のお惣菜」頒布会をご利用いただきまして誠にありがとうございます。

お客さま方の食卓に彩を添える季節の旬のお惣菜を、今年もひと品ひと品、まごころを込めてお届けいたしますので、味付けやメニュー、サービス等についてお気づきの点がございましたら、同封のはがきなどで、何なりとご意見を賜りたく、宜しくお願い申し上げます。

今月は四年前の東日本大震災発生の日の事を三回に分けてお話をしたいと思います。

4年前の3月11日、私は、東京出張が思ったより早く終わったので、早めの新幹線に乗り込みました。上野駅を出てトンネルに入ってから急にブレーキがかかり停車したのです。「自動停車致しましたのでお待ちください」とのアナウンスがあり、新幹線の車両が揺れている様な気がしました。しばらくすると、



Vol.17
平成 27 年 3 月号

電力の消費を減らす為に前車輛と後車輛の非常灯以外は消しますとのアナウンスがあり、車内は真つ暗な状態となり、携帯とPCの灯りのみが光っているのが印象的でした。携帯で東北に大きな地震が発生しているというニュースを見て状況を知りました。真つ暗な社内の中で40分〜50分位たちましたが、乗客の人々は本当に冷静に対応していた事を思い出します。会社に電話やメールをしましたでしたが繋がりませんでした。

その後、上野駅に引き返します旨のアナウンスが流れ、ゆつくりとバックし始めて上野駅ホームに到着しました。ドアを出たらJR職員が列を作る様に並びながら、乗客全員を誘導していました。誘導後に説明や払い戻しがあるものと思っていました、長いエスカレーターを乗り継ぎ、改札口もそのまま外に出されました。出てびつくりしました。上野駅の外は一面に物凄い人だかりで身動きが取れない程でした。

JRも地下鉄も動いていない事ばかり、本能的に今日のホテルを確保しな

ければと思い、すぐに上野駅周辺の宿を探しましたが、6件目でようやくカプセルホテルの部屋がとれまして部屋に入り直ぐテレビをつけてニュースを見ましたが、仙台の名取の水田地帯にまで津波が押し寄せている映像が飛び込んできましたが、にわかには信じられない光景でした。三陸沿岸各地の映像も流れ始めましたが、実況中継では「全滅です」と繰り返しかえし叫んでいました。

夜になると気仙沼の大島の大火事のニュースが流れ、あまりの映像に不謹慎ですが映画のシーンでも流しているのではと思ってしまいう程で、新幹線から起きた出来事があまりにも現実的では無かった感じがしました。

翌朝に上野駅まで行きまして新幹線がいつ頃動くのかと問い合わせ、動けば直ぐにでも乗り込もうと思っていきましたが、自分がいかに現実を認識していないかを実感しました。(次回に続く)

「食べて健康に」をモットーに、今後とも美味しい手作りの惣菜をお届けする事で、皆様の健康づくりのお手伝いをさせていただけますよう頑張ります。

引き続きご愛顧の程、宜しくお願い申し上げます。



初日の出 (碓氷海岸)

あの日…そして思いを受け止めていく ～東日本大震災～

花巻だより

2011年(平成23年)3月11日、沿岸の大船渡市に単身赴任していた夫は翌日に予定していた娘の中学の卒業式に出席する為、一日早く帰ってきておりました。謝恩会の余興の練習に行くと言う娘を送っていかうと外に出た瞬間に地震は起きました。地震がいったんおさまって直ぐに夫の部下より携帯に「お客様は誘導しましたが、津波が来るらしく高台に避難しろ!という事です、店はどうしたらよいですか?」と指示を仰ぐ連絡が入り「鍵だけ閉めて、すぐに避難しろ!」と指示を出した後、部下への連絡は一切途絶えました。何度電話しても部下たちには連絡がつかません、やっと連絡がついた時は部下が物資を調達するために内陸まで来ているという連絡が入った時でした。夫は我が家にあった乾電池や非常食になるものをかき集めて待ち合わせ場所に行き、会った時は抱き合って泣いたそうです。その夫が青ざめた顔をして帰ってきました。話を聞くと携帯で撮った津波の映像を見せられ(まだテレビで映像が流れる前でした)ショックを受けて帰って来たのでした。内陸の私達でさえ昨日の事のように鮮明に覚えていて、いろいろな思いが交錯します。大きな被害を受けた方たちはどのような思いでこの4年を前向きに歩き続けたのか、計り知ることは中々できません。現在も「沿岸に(特にお年寄りたちに)元気を!」と支援に行っている方が話していらっしやいました、「まだまだ気持ちが前を向かない方もいらっしやいます。まずは、私達は気持ちを受け止める事から」と。私も身近な人から受け止めていきたいと思っています。